

2026年1月8日

当院で抗HER2薬を投与された乳癌患者様へ

「当院で抗HER2薬を投与された乳癌患者の眼症状に関する研究」  
への協力をお願い

当院乳癌外科では、過去に下記のような治療を受けた患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

① 研究の対象

2020年10月1日から2025年9月30日までの期間に当院で抗HER2薬投与を受けた乳癌患者様。

② 研究の期間

2026年1月8日～2026年6月27日

③ 研究の目的

乳癌患者さんの約20%はがん細胞の表面にHER2タンパクが多数存在する「HER2陽性乳がん」で、治療のために抗HER2薬を使用します。抗HER2薬としてはトラスツズマブ、ペルツズマブ、トラスツズマブ・ペルツズマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ、トラスツズマブエムタンシン、トラスツズマブデルクステカン、ラパチニブなどが使用されています。また、現在ではHER2陰性の一部の方にも抗HER2薬を使用することがあります。

以前より抗癌剤治療を受ける方には副作用として眼の症状が出ることで知られていましたが、最近では抗HER2薬などの分子標的治療薬を使用する方にも眼の症状が出る方がいらっしゃいます。

今回、当院で抗HER2薬投与を受けられた乳癌患者さんの眼症状の実態について検討することで、今後の乳癌患者さんの治療に寄与したいと考えています。

④ 研究の方法

2020年10月1日から2025年9月30日までの期間に当院で抗HER2薬を投与された乳癌患者様の既存の情報をを用いた後方視的検討です。電子カルテ情報をもとに以下の情報を抽出し、検討します。患者様の年齢、性別、全身状態（体型や栄養状態など）、併存疾患、乳癌の進行度、サブタイプ、画像情報、採血結果（腫瘍マーカーなど）、病理検査結果など

⑤ 研究責任者

森川 あけみ 所属 岐北厚生病院 外科

⑥ 指導研究者

同上

## 研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は岐北厚生病院医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

## 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

## 連絡先

岐北厚生病院 外科

電話番号 0581-22-1811

責任者氏名：森川 あけみ